

Q_o 岡義博法律事務所報 第39号

高松市丸の内7番20号 丸の内ファイブビル5階
TEL (087) 821-1300
FAX (087) 821-1833
MAIL oka-law@kln.ne.jp
H P http://www.kln.ne.jp/oka-law/

異常気象

所長 弁護士 岡 義博

異常気象という言葉があるが、今年の夏ほどこの言葉を実感した年はなかったであろう。今年の夏は、本当に異常といえるほど暑かった。観測史上最も暑い夏だったと発表されたが、9月に入っても猛暑は続いた。

暑さだけではない。もう忘れてしまったかもしれないが、春先から梅雨時にかけて、各地で豪雨の被害が続いた年でもあった。豪雨による土砂災害が全国的に起きたことも異常であった。

日本だけではない。世界規模でみても各国で大洪水が発生した。ハリケーンもあった。これら、世界的な異常気象が地球温暖化の影響であることは、もはや疑いようもないことであろう。

温暖化防止が叫ばれて久しいが、事態は何も変わっていないように思われる。事態が好転しない最も大きな原因はアメリカを筆頭とする先進大国のエゴであろう。現在の快適な生活を続けたいという考えが温暖化防止へ踏みきれない大きな理由であろう。

快適な生活を得るために人類は科学を発達

させてきた。その積み重ねが地球環境の悪化を招いてきた。この事は間違いないだろう。しかし、人々は快適な生活を後退させたくないと考える。あるテレビ番組でやっていたが、今の日本人の生活を世界中の人々がしようとすると地球1個では足りず、地球が2個半必要だそうだ。日本中で生み出している地球環境破壊がいかに大きいかということである。アメリカ人並みの生活をしようとすると地球が5個半必要との事である。先進国の行っている環境破壊がいかに大きいものであるか物語っている。

このままでは北極や南極の氷がとけて海中に沈む国も出てくる。温暖化防止は正に待ったなしの所までできている。温室効果ガスの排出は現状維持ではどうにもならないだろう。削減するしかないだろう。車が使えない、電化製品が使えないという不便は工夫によって解決するしかない。直ちに手をつけないと、あと50年で人類が住めない星になってしまうであろう。その時、地球を捨てて他の惑星に移り住むのであろうか。



法の女神・テミス

この像は、ギリシャ神話の「法の女神」テミス (Themis ...ギリシャ語で、「掟」「習慣」「法」「正義」を意味します) を形どったものです。

右手に掲げるはかりは、公平を象徴するとともに、悪の重さをはかり、剣は力による貫徹を象徴し、目隠しは無私をあらわすものといわれています。

前号では、「不実告知」と「不利益事実の不告知」について説明しました。このような勧誘が行われた場合には消費者契約を取消することができるということです。

これ以外にも「断定的判断の提供」があった場合にも取消することができます。断定的判断とは将来における変動が不確実な事項について、確実であると誤解させるような決めつけをすることをいいます。対象となるのは物品だけでなく権利や役務も含まれます。断定的という意味ですが、「絶対」とか「必ず」という言葉が使われなくてもいいのです。「もうかります」と言おうが「必ずもうかります」と言おうが同じです。「将来における変動が不確実な事項」とは、例えば株価や金の価格、為替相場などが挙げられます。「断定的判断の提供」は許されませんが、消費者が判断をする材料を提供することは許されます。例えば、経済新聞や経済誌に載っている記事を示すことなどです。断定的判断の提供があった場合にも消費者契約を取消することができます。

勧誘方法が不適切な場合にも、契約を取消

身近な法律シリーズ (39) 消費者契約法

することができる場合があります。まず、「不退去」の場合です。事業者が消費者の住居や事業所に勧誘に来たので、消費者が退去すべき旨の意思表示をしたにもかかわらず帰らず、消費者が困惑して契約を結んだような場合です。「帰ってくれ」と明確に表示する以外にも「時間がないんで」というように間接的に帰って欲しい旨を表示した場合も含まれます。「困惑」とは、どうしていいかわからなくなってという精神状態をいいます。恐ろしいと感じるより広い概念です。「監禁」の場合も同様です。勧誘場所から消費者が退去する旨意思表示しているにもかかわらず、退去させない場合です。退去させない事で困惑し消費者契約を結んでしまったという場合です。退去させない方法は押し留めたりするような物理的な方法に限らず、心理的に退去させないという方法の場合も含まれます。拘束時間の長短は問いません。これらの場合も消費者契約の取消ができます。

取消ができる期間は、追認をすることができる時から6ヶ月間あるいは契約締結の時から5年間です。詳しくは次号で。

高松ウォッチング

事務局 E・O

若者が耳にイヤホンをつけて、自転車に乗ったり、歩く姿を見かけるアイポッド。

私もずっと前から欲しかった。特に旅行へ行った時なんかは連れていきたい。

今年の誕生日。思いもかけず、子供たちからアイポッドのプレゼント。私の大好きな曲がいっぱい入ってる。思わず目頭が...

さらに自分でも録音(何とか)、1000曲入らしい。すごい。耳元で大きな音を鳴らし、雑音の無い自分の世界へ。最高!!

「おい!」っと呼ばれても気づかない。

息子には「人のこと言えんだらうが」とにらまれる。今まで「返事は?耳が悪くなるよ。自転車あぶない」と散々叱っていた...

主人は「耳元で音がががが鳴るのは、耐えられん」。これだから年寄り...

8月、長崎からの帰省の帰り。岡山駅に着いたのが夜の10時半ごろ。

当然、アイポッドを両耳に。夜遅くても、疲れていても、若者みたいで気分いい。

岡山の駅のホームに立った。4番線・5番線・6番線と書いてある。はて?と思い、駅員さんにホームを聞く。「ふむふむ。こっちな。いつも立ち位置の場所(端っこ)で電車(高松行)を待つ。停車している電車は徳島行となっている。そのうちくるだろうと音楽を聴きながら待つこと15分...

徳島行きは発車。高松行きの出発時間のはずが電車がこない。やおら片方のイヤホンはずす。発車のベルが鳴っている。「高松行き乗車の方はお急ぎ下さいーい。なんで~?

同じ左側で5番線・6番線となっている。私の乗る電車ははるか後方6番線。走る走る。車付キャリアバックもイヤホンも宙を飛ぶ。足がもつれそう。転びそう。でも走る走る。

「待ってー!その電車ー!乗りまーす!」

必死で叫ぶ私。



八十八ヶ所巡り

その3

今回は20番鶴林寺と21番太龍寺。いずれも標高500～600mの所にある札所だ。訪れたのは4月初め。

鶴林寺はその日の巡礼の最後。午後3時半ころであったが、この日は雨。山道を上るとだんだん霧が濃くなって来る。道の狭い所もある。歩き遍路の通る道は別だが、歩いて上るのは大変だろうと思う。上りきった所に駐車場があるが、あまり広くない。山頂は全てが霧に煙っている。遠くは全く見えない。10m先もかすんでいる。大変、厳肅な感じがする。参拝者は少ない。2羽の鶴の像が有名である。かつて弘法大師がこの山で修業中に雄雌2羽の鶴がお地蔵さんを護っているのを見て、大師が地蔵菩薩像を彫り、その胎内に鶴が護っていた地蔵を納めて本尊としたのが、寺の名の由来とされている。雨と霧の中、参拝をすませて山を下る。



泊りは遍路宿のような旅館。部屋にはトイレもない。もちろん風呂もない。全て共同である。食事も食堂で皆と一緒に。巡礼していると実感する。

翌日は一転して晴れ。朝一で太龍寺へ向かう。かつては、徳島の札所の三大難所といわれた寺である（他は、焼山寺、鶴林寺）。今ではロープウェイがあって楽に山頂まで行ける。旅館から50分ほどかかってロープウェイの麓駅に到着。

駐車場は広い。道の駅が併設されているので、食堂やみやげ物売り場も充実している。ロープウェイは20分おきに出ている。ロープウェイからのながめも良い。10分ほどで山頂駅に着く。着いた所が本堂への昇り口で階段になっている。



境内は広く荘厳な感じ。遠くに鶴林寺を臨むことができる。好天で参拝者は多かったが、静かに感じる。木々の緑が目まぶしい。団体客が多く、先達さんの吹くほら貝の音が鳴り響く。巡礼に来たのだと感動がわき上がる。桜が咲きほこりこれも巡礼情緒を盛り上げる。有名な龍の天井画も見事である。修業中の大師を龍が守護したことから、この寺の名がついたとされている。厳かな気持ちで教をあげ参拝をすませた。

霧けむる 山門や 遍路道
ほら貝の 音響く 山の寺 (Y.O)



ちよつとひといき

事務局 K・K

夏休み、息子と本屋に出かけたときの事。息子は、ルービックキューブを持って、おねだり顔。本屋でルービックキューブがあ～。と思いながら、手に取ってみる。

昔、父がやっていたのを思い出した。懐かしい。日本国内で発売されて今年で30年だそう。確か、出来たと言い出した頃には、手垢で薄汚れていたような気がする。

しかし、PSPやDSのゲームで遊ぶより、ずっと頭に良さそうだなと密かに思いながら、購入。

考えながら回している姿を眺めながら、母は、良い買い物をした気分浸っていた。

暫くして、「出来た！」と息子が叫んでいる。見ると、6面完成したキューブを手に、満足顔。よく見ると攻略書入り。3日もすると自力でいくらでも完成しているではないか。

するとまた、寝転がってゲームが復活。たった3日の命が…。

次は、1面4×4を買ってあげると約束。今度は、3×3より遙かに難しいらしい。



外部の方からの投稿です

事務局のKさんと一緒に千手庵さんでお昼を頂いて来ました。

お店に到着すると中は既にお客でにぎわっていて、大きなテーブルには美味しそうな蕎麦が…。このテーブルがご主人手作りのテーブルか…と関心しつつ空腹感は頂点に。定食は食前に抹茶がつき、ざる又はかけそばを選ぶことができます。Kさんは定食、私はざるそばを単品で頂きました。

長野産100%のそば粉を使った美味しいお蕎麦。寝かした醤油を元にした蕎麦つゆのまろやかな甘みは、一切の甘味料を使っていないそうです。冬になると囲炉裏の方でおでんを煮たり、魚を焼いたりもするそうなので、今度は是非冬に伺いたい。お昼の忙しい時間に色々お話を聞かせて頂き、ありがとうございました。

(T . I)